

地本大会全体質疑・代議員発言項目

- 網本代議員(北大阪支部)
● 福知山線列車事故など安全について
● 迅速に活動(反映)できる組織づくり
● 組合役員の育成とワークライフバランス
● 伊加井代議員(大阪支部)
● 大幅なダイヤ乱れによる乗務員の休憩時間確保について
● 新中期経営計画2030と社員への還元および労働環境改善
● 松原代議員(天王寺支部)
● 事故を忘れない取り組みなどの安全について
● 新入社員加入活動など組織共済の加入促進
● 藤村代議員(奈良支部)
● 事故を風化させない取り組みなどの安全について
● 加入行動など組織について
- 政治について
● 青谷代議員(王寺運輸分会)
● 列車遅延時の座席確保
● バリアフリー対応
● 管理者手当
● 橋野代議員(大阪電車区分会)
● 鷹取駅停車駅通過について
● 社長の発言
● 臨時徐行の特別制限化
● 伏下代議員(大阪総局指令所分会)
● 仮眠室について
● 工務指令の指令長の区分
● 異常時の指令間協議
● A T S P の故障が減少しな件
● 信通指令の要員配置
● 高橋代議員(天王寺支部)
● 役員の成り手不足
● 川口代議員(大和路保線区分会)
● 奈良線、桜井線、関西線西線の施設電気取扱いのシステム化

- 探傷車監督の外注化
● 奈良管理室と伊賀上野管理室の統合
● 大角代議員(京橋運輸分会)
● 駅務採用の短期的な車掌運用
● 組合活動のDX化
● 2027春闘
● 板井代議員(日根野支所分会)
● 日根野支所の修繕作業時間の確保
● ポロシヤの工務系社員の配布
● 班長手当の新設
● 村上代議員(大阪機械区分会)
● 勤務について
● 食堂などの福利厚生充実
● 平山代議員(尼崎列車区分会)
● 尼崎列車区内勤務の要員の考え方
● 健康診断時の視力検査方法
● 佐野代議員(大阪運輸)
● 精算機の老朽取り替え時期
● 輸送配信システム
● ユニオンスクール
● 社会人採用コースの日程
● 井下代議員(王寺運輸)
● 環状線駅でのかけつけ対応



永年に亘り鉄道輸送の根幹に携わられた皆様
大変おつかれさまでした。
大阪地方本部主催2026年度退職者慰労会開催

大阪地方本部主催「2026年度退職者慰労会」を7月23日(木)ホテルグランヴィア大阪に於いて開催した。主催者を代表し、禪野執行委員長より、国鉄からJRと激動の鉄道人生を送ってこられた先輩方へ、これまでのご苦労に感謝し、JR入社世代が、これからは先輩方に恥じぬ様にJR西労組運動を邁進させていく旨の挨拶が



お詫びと訂正

8月1日発行の第455号に於いて、第27回文化・文芸コンクールの受賞者名に誤りがありましたのでここに訂正させていただきます。

○ポスター 最優秀賞
(誤)吉田 暁子 (正)宮田 勝己
(京橋運輸分会) → (京橋運輸分会)
大変ご迷惑をお掛けいたしました。
大阪地方本部 情宣部

大阪地方本部大会 寺井書記長総括答弁

18名の代議員から安全、組織、賃金、業務、政治すべての主要課題について発言をいただいた。まだまだ発言を予定していた方もおられたとは思いますが、後ほど意見交換会もありますので、会社幹部や現場長も来られますので足らずはそちらで対話をしていただければと思います。

安全について、たくさんのご意見をいただきました。今日までの様々な取り組みにより、安全意識については確実に高まっています。しかしながら、大切な仲間を失う事象や、鉄道死亡労災に至らない交通事故などが発生しており、危機感を持たなければなりません。JR西日本の業務は、現場作業の多くをグループ会社や協力会社に委託して運営されており、現場最前線では危険と隣り合わせの作業に携わっています。

今一度、お客様に誓った安全を原点に立ち返り、安全お守り手帳を活用し安全性向上の取り組み継続をお願いしたい。

ABC運動については、まだまだ組合員に浸透が図れていない状況です。本部大会で決定したロゴマークや標語、ポスターなどを活用して幅広く周知を図っていききたいと思います。

また、事故後入社の組合員に、事故の事実や悲しさ・反省と教訓を、二度と同じ事故を繰り返さないために、当時事故を経験した組合員がしっかりと後輩に伝えられる環境を創り出し、青年女性委員会とともに福知山線列車事故を知る取り組みを重ねてまいります。

組織では、大阪地本配属となった155名の新入社員、および社会人採用の方の組織化も全員加入となったことに感謝します。一方で、共済に加入するスケールメリットを説明しながらも、加入にいたらない方もおられた。来年度も、多くの新入社員が大阪に配属されると予想される。大阪地本全体で取り組みをすすめていきたい。

この1年間に大阪地本管内で10人ほどの現役組合員の方がお亡くなりになられた。その中でも家族支援共済に入っていた方はおよそ半分程度でした。ガイダンスに行かせてもらいましたが、悲しみに暮れているご家族も「このような共済に入っているなんて知らなかった」と喜んでおられました。

まずは役員から率先して加入し、各種共済の加入拡大の取り組みもすすめて参りたい。助け合いの精神が薄れていく時代になっているかもしれませんが、一人では生きていけませんし、職場の中には必ず困っているような組合員がいると思います。先輩・後輩・同僚の話聞き、何か助けられることはないのか、ひとりひとりに寄り添っていただき、人間関係を作り上げ、職場・分会で解決できる部分をまずは見出していきたいと思います。

業務課題に関するご意見もたくさん頂戴した。今後、支部大会、分会大会など各級機関でご意見も頂戴したいし、大会でなくとも、気づきがあれば気兼ねなく我々に声を届けていただきたい。

大単位化の施策や効率化の施策が多く、課題も山積していると思いますが、会社としっかりと議論して、施策実施後も改善すべきところはしっかりと改善していきたい。賃金昇進制度や定年延長の話も少しずつではありますが進んでいます。皆さんの声を聞き、より良い制度となるように、我々も努力して参りたい。

政治の関係については、来年4月には統一地方選挙が控えている。前回の統一地方選挙で残念ながら惜敗した、前奈良県議会議員の田尻匠氏が再度挑戦する意向を示している。様々なご意見があることは承知していますが、組織内議員としてこれまで頑張ってきた実績もありますので、大阪地本として最後まで全力で支援をしてまいりたいと思います。

最後に、組合活動の原点は分会活動です。世話役活動や声掛けなどを地道に行い、組合員に信頼されるJR西労組を皆さんと共に作っていきたく思っております。分会で解決できそうにない問題や課題は支部や地本に相談してもらいたいと思いますし、我々もしっかりと対応して参ります。

日々自分の時間で西労組運動を行っていただいていることに改めて敬意を表したいと思いますし、我々も環境改善・待遇改善に向けて全力で取り組んでいくことをお誓い申し上げ総括答弁とさせていただきます。共に頑張りましょう！

ユニオンスクール「職コース」開催！

係長としてのスキルと心構えなど
管理者の仕事への関わり方を学んだ

大阪地方本部は、7月28日(火)リンクス(天王寺)に於いて「ユニオンスクール「職コース」」を開催した。



2025年に上職として登用された組合員を中心に20名が参加した。



次、近畿労働金庫藤井主任から「資産形成セミナー」として、



受講生の皆さん

そして、筆野副執行委員長から「労働組合と政治について」の講義があり、労働組合と政治の関わりや重要性など、交通政策をすすめる会の説明を含め講義があった。最後に、特別講義として近畿統括本部経営企画部人事の井上課長代理から係長として社員への関わり方、社員育成に伴う職場環境の変化、分会役員とのかかわり方、勤務など、今後係長として必要なことについて講義をいただき、筆野副執行委員長の開講の挨拶で終了した。

“いつも通り”を確実に。ABCで事故ゼロへ。